

2021年10月20日

ホロジックジャパンの全自動遺伝子検査装置「パンサーフュージョンシステム」を『一般財団法人阪大微生物病研究会』が国内初導入

ホロジックジャパン株式会社（本社：東京都文京区）は、ワクチンメーカーであり、且つ、登録衛生検査所として各自治体や医療機関で実施される健康診断や臨床検査を担う「一般財団法人阪大微生物病研究会」が、同社の全自動遺伝子検査装置「パンサーフュージョンシステム」を導入、2021年8月より新型コロナウイルス感染症の変異株スクリーニングの完全自動化を開始したことを発表した。

「一般財団法人阪大微生物病研究会」では、昨夏より同社の全自動遺伝子検査装置「パンサーシステム」を導入して新型コロナウイルス遺伝子検査の自動化を推進してきたが、今回、このシステムに専用モジュールを追加し「パンサーフュージョンシステム」へアップグレードしたことにより、変異株スクリーニングを完全自動化することが可能になった。

「一般財団法人阪大微生物病研究会」の、第5波での変異株スクリーニング数は、従来法での検査数と比較して約5倍まで増加した。第6波に備えた、増加するスクリーニングのニーズに対応する体制構築にこの「パンサーフュージョンシステム」の導入は大きく寄与するものとしている。